

実施日：2019年7月

【規定、マニュアルやチェックリスト等の整備】

No.1

項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	計
1 倫理綱領、行動規範等を定めている。	4			4
2 倫理綱領、行動規範等について職員への周知徹底ができています。	4			4
3 虐待防止マニュアルやチェックリスト等を作成している。	4			4
4 虐待防止マニュアルやチェックリスト等について、職員に周知徹底するとともに活用している	4			4
5 緊急やむを得ない場合の身体拘束等の手続きや、方法等を明確に定め、職員に徹底している。	3	1		4
6 身体拘束について検討する場を定期的に設けている。	3	1		4
7 緊急やむを得ない場合の身体拘束について、利用者（家族）に説明を行い、事前に同意を得ている。	2	2		4
8 個別支援計画を作成し、これに基づく適切な支援を実施している。	4			4
9 個別支援計画作成会議は、利用者の参加を得て実施している。		2	2	4

【職員への意識啓発、研修】

10 職員に対して、虐待の防止に関する研修や学習を実施している。	4			4
11 日々の支援の質を高めるための知識や技術の向上を目的とした研修を実施している。	4			4
12 職員の虐待防止に関する知識・関心を高めるための掲示物等を掲示している。	4			4
13 「職員チェックリスト」の活用を図り、職員の虐待に対する意識や日々のサービス提供等の状況把握に努めている。	2	2		4
14 「早期発見チェックリスト」の利用の徹底を図るとともに、発見時の報告、対応等について明確にしている。	2	2		4

【外部からのチェック】

15 「福祉サービス第三者評価事業」を活用し、サービスの質の向上等に努めている。		4		4
16 「福祉サービス第三者評価事業」を一定の期間ごとに継続的に受審している。		4		4
17 虐待の防止や権利擁護について継続的に外部の専門家や法人内の他の施設職員等による評価、チェックを受けている。（第三者評価事業の受審を除く）	1	3		4
18 施設・事業所の事業監査において虐待防止に係るチェック等を実施している。	4			4

実施日：2019年7月

【外部からのチェック】

No.2

項 目	はい	どちらとも いいない	いいえ	計
19 ボランティアの受け入れを積極的に行っている。	2	2		4
20 実習生の受け入れを積極的に行っている。		2	2	4
21 家族、利用希望者の訪問・見学は随時受けている。	4			4

【苦情、虐待事案への対応等の整備】

22 虐待防止に関する責任者を定めている。	4			4
23 虐待防止や権利擁護に関する委員会を施設内に設置している。	4			4
24 苦情相談窓口を設置し、利用者等に分かりやすく案内をするとともに、苦情解決責任者等を規定等に定め、利用者等からの苦情の解決に努めている。	4			4
25 苦情相談への対応について、第三者委員を定め、利用者案内をしている。	3	1		4
26 職員が支援等に関する悩みを相談することのできる相談体制を整えている。	4			4
27 施設内での虐待事案の発生時の対応方法等を具体的に文章化している。	4			4
28 施設内での虐待事案の発生した場合の再発防止等を具体的に文章化している。	3	1		4

【その他】

29 施設において利用者の金銭および、貴重品を預かっている場合、その管理は複数の職員によるチェック体制のもとになされている。	4			4
30 施設は、利用者または、その家族の意見や要望を聴く場を設けている。	4			4
31 施設経営者・管理者は、職員の意見や要望を聴く場を設けている。	4			4
32 施設経営者・管理者は、施設職員同士がコミュニケーションを行う機会の確保に配慮や工夫を行っている。	4			4
33 利用者の希望や必要に応じて成年後見制度の利用支援を行っている。		4		4
34 希望や必要に応じて、成年後見制度の活用等について、利用者（家族）に説明を行っている。		4		4
35 利用者・家族、一般市民やオンブズマン等からの情報開示にいつでも応じられる準備をしている。	3	1		4
36 虐待の防止や権利擁護について、利用者（家族）、関係機関との意見交換の場を設けている。	3	1		4

実施日：2019年7月

【地域における虐待の防止、早期発見・対応】

No.3

項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	計
1 障害者（児）やその家族、地域住民等に対し、虐待の防止に関する普及・啓発を実施している	4			4
2 家族、地域関係者との連携と情報交換を積極的に行い、虐待の可能性のある事案の観察や早期発見に努めている。	4			4
3 地域における虐待防止において、障害福祉サービス事業者（施設）などの事業者間の連携を図っている。	2	2		4
4 地域における虐待防止について、相談支援事業者、地域自立支援協議会や行政機関等との連携・協力（意見交換等も含む）をしている。	4			4
5 虐待事案のみならず、福祉サービスの利用等を含め、相談窓口を設置・広報誌し、地域住民の相談を受けている。	2	2		4
6 地域の障害者が虐待を受けた場合の積極的な受け入れ（市町村からの依頼があった場合等）を行っている。		4		4
7 虐待を受けた障害者・児の受け入れとその支援に関するマニュアル等を一般のマニュアルとは別に作成している。（虐待を受けた障害者・児への支援）	2	2		4
8 虐待事案の疑いがある場合、もしくは、発見した場合の相談支援事業者や行政機関等への連絡（通報）について手順等が具体的に文章化している。	3	1		4
9 虐待事案の疑いがある場合、もしくは、発見した場合に直接訪問する等の対応を行う努力をしている。	4			4
10 虐待事案の疑いがある場合、もしくは、発見した場合に、施設・事業所として迅速かつ一元的な対応が可能となる体制を事前に定めている。	4			4

職員セルフチェックリスト

ハッピーテラスキッズ大分ルーム

項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	計
1 利用者への対応、受け答え、挨拶等は丁寧に行うよう日々、心がけている。	4			4
2 利用者の人格を尊重し、接し方や呼称に配慮している。	4			4
3 利用者への説明は分かり易い言葉で丁寧に行い、威圧的な態度、命令口調にならないようにしている。	4			4
4 職務上知りえた利用者の個人情報については、慎重な取り扱いに留意している。	4			4
5 利用者の同意を得ることなく、郵便物の開封、所持品の確認、見学者等の居室への立ち入りなどを行わないようにしている。	4			4
6 利用者の意見、訴えに対し、無視や否定的な態度を取らないようにしている。	4			4
7 利用者を長時間待たせたりしないようにしている。	4			4
8 利用者の嫌がることを強要すること、また嫌悪感を抱かせるような支援、訓練等を行わないようにしている。	4			4
9 危険回避のための行動上の制限が予想される事項は、事前に本人・家族に説明し同意を得え、方法を検討し、実施は複数職員によるチームアプローチをとっている。	4			4
10 利用者に対するサービス提供に係る記録書類について、対応に困難が生じた事項や不適切と思われる対応をやむを得ず行った場合等の状況も適切に記入している。	3	1		4
11 ある特定の利用者に対して、ぞんざいな態度・受け答えをしてしまうことがある。			4	4
12 ある特定の職員に対して、ぞんざいな態度・受け答えをしてしまうことがある。			4	4
13 他の職員のサービス提供や利用者への対応について問題があると感じることがある。			4	4
14 上司と日々のサービス提供に係る相談を含め、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。	4			4
15 職員と日々のサービス提供に係る相談を含め、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。	4			4
16 他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面に出くわしたことがある。			4	4
17 他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面を容認した（注意できなかったこと）がある。			4	4
18 最近、特に利用者へのサービス提供に関する悩みをもち続けている。			4	4
19 最近、特に仕事にやる気を感じない事がある。		1	3	4
20 最近、特に体調がすぐれないと感じることがある。		1	3	4